

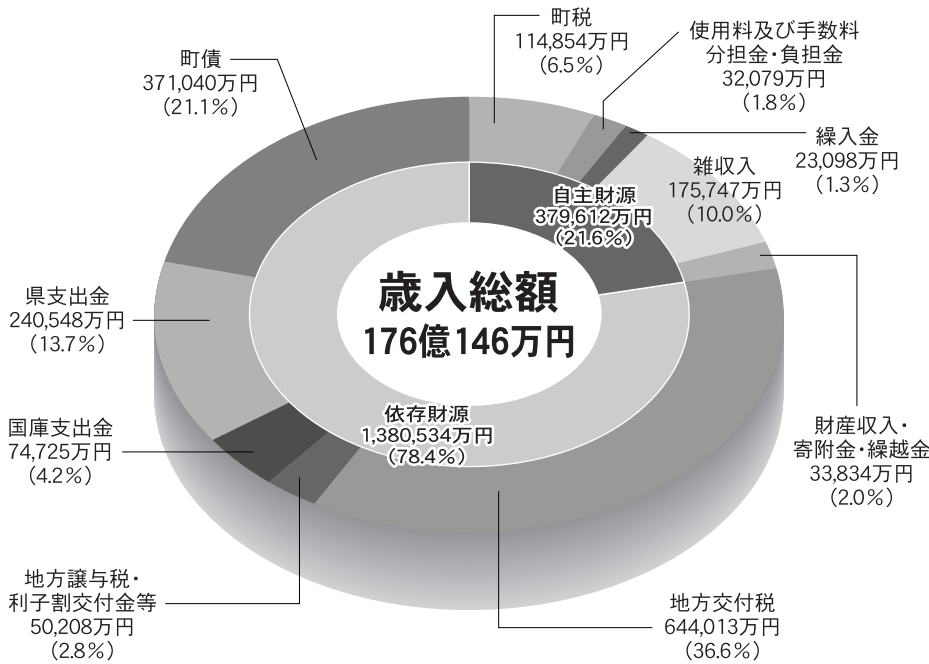
# 平成18年度決算の状況

平成18年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算が、9月の第3回定例議会で認定されました。町民の皆さんが納められた税金や国から交付される地方交付税などがどれだけ入り、どのように使われたか、町の家計簿をお知らせします。

## ◇一般会計歳入歳出の概要

### 歳入

歳入総額の決算額は一七六億一四六万円で、前年度と比較すると一九億七、三七八万円（二・二六％）の増となりました。歳入決算額のうち依存財源といわれる地方交付税、地方譲与税、国・県支出金、町債、自動車取得税交付金等を合計すると七八・四％で、他の中山間市町村と同様に、国



### 歳出

歳出総額の決算額は一七三億三、九二一万円で、前年度と比較して一九億四、〇七五万円（二・一六％）の増となりました。投資事業の比較では横田地域CATV整備をはじめとして積極的に新町生活関連基盤整備に努めた結果、前年度比二七億六、二七〇万円の大幅な増となりました。

主な財政指標についてみますと、町の歳入に対し必ず要する支出の割合を示す経常収支比率は八五・四％で、昨年と比べ二・六％の減となり、財政が県下二十一市町村の中で一番低い良い比率となりました。公債費関連指標については、平成十七年度で借入金の上償還を行った結果、昨年度と比べ「起債許可制限比率（三カ年平均）は一五・一％と一・〇％低下、これに病院、水道、下水道整備に要した借入金返済のための特別会計への繰出金などを加えた自治体全体の実質的な公債費負担を示す「実質公債費比率」は二三・九％と〇・五％低下し、改善しました。今後も計画的に繰上償還を進めるなど、財政健全化に向けた取組みを更に強化する計画であります。

